

大和映像サロン ニュースレター

令和7年 7月号 No.531 2025年（令和7年）7月1日発行

2025年6月勉強会報告

6月12日（木）14時00分から、勉強会をシリウス 606号室にて開催しました。

出席者 片野、佐藤、嶋崎、関、土屋、藤井、三浦、山本 以上

出席者 8名

欠席者 4名、通信会員 1名

欠席中の樋口さんから会長宛にメールが届きました。

手術は無事成功し退院、自宅で療養中。 ゲームをして時間つぶしながら回復を待つという毎日とのこと。

会員一同、早いご回復を心よりお祈りいたします。

映像神奈川（5月30日（金））の上映会に、会長とともに参加した佐藤会員から、その報告がありました。

会長報告・連絡事項

1) 市川映像協会より映写会の案内が来しました。

7月13日（日） 13:00～ 市川文学ミュージアム

2) 5月24日（土）14:00 - 生涯学習センター利用者懇談会が行われ、土屋会長と三浦副会長が出席しました。

登録しているクラブなどの団体は現在約800団体ありますが、学習センター主催の発表会（センターまつり）への参加する団体が少ないので、お互いに交流し、今後盛り上げていこうことでした。

3) 6月になりました。 そろそろ「大和映像まつり」に発表する作品の準備をお願いします。



6月勉強会 講師 三浦会員

テーマ：映像を始めた頃の思い出

講師の三浦会員が40年前に仕事で撮影した映像を元に、いろいろな商品のパッケージに印刷されている「バーコード」の技術や歴史について、教わりました。

バーコードは商品を管理するために考え出されたものです。 貼り付ける箱やパッケージは大きいものから、小さなものまでさまざま。

一定の範囲内にバーコードを精度よく印刷する必要があります。

そのバーコードの構成や開発の歴史と、発展していった機器などについて教わりました。



機器を製造する過程で発生した様々な問題点の解決に、ビデオ映像は役に立ったようです。

現在では、より複雑で多くの文字数を表現できる2次元バーコード（QRコード）が普及してきました。

QRコードは日本電装という会社が考案したもので、世界中で使って欲しいと特許を公開したため、多くの分野で利用されています。



Yamato Eizo Salon News Letter

6月勉強会 発表作品

1) 「箱根ペコニア園」 4:20 山本 禎弘

撮影：1995年11月 カメラ：ソニーTR900

映像仲間と訪れた箱根湯本ペコニア園（2011年7月閉園 現在「箱根湯寮」というリゾート温泉）の映像。

亜熱帯に咲く色鮮やかなペコニアの花。 それらを捉えようと熱心にビデオカメラを構える懐かしいメンバー

の顔。「XXさんだ」、「ああ、この顔、なつかしいなあ?」、「こんな人いたなあ」。 こんな話で、盛り上がりました。



2) 「無題（自宅の庭に咲く花）」 2:00 山本 禎弘

撮影：1995年11月 カメラ：ソニーTR900

作者の庭には、どこからともなくやってきていつの間にか花が咲いているとのこと。

ホタルブクロ、サボテン、ミツマタ、などなど。

撮影ネタには事欠きません。

常にビデオの被写体を考えてすぐに行動する。それが、長続きのコツのようです。



3) 「映像詩 落葉松の春」 3:20 佐藤 昌孝

撮影：2025年5月 カメラ：パナソニック FZH1

御射鹿池（みしゃかいけ）の新緑をとらえ、それに作者が詩をつけた作品。

微妙な違いをみせる緑。それが池に映って、さざ波にゆれます。

そんな落葉松（からまつ）の風景を見ながら心に浮かぶ思いとは？ 最後に流れるテロップの1行。

「今だけのカラマツの春」。



4) 「田崎家のバラと花」 6:00 関 康子

撮影：2025年5月 カメラ：Sony FDR-AX45A

近所に住む知人宅を訪れ、その庭に咲くバラを撮影した映像。

CDに収めてプレゼント、とても喜ばれたとか。

丹精込めた花の映像と共に、記憶はいつまでも残るでしょう。「手持ち撮影だったのが残念かな」と作者。



「過去の映像ストック」のコーナー

大和映像2011年PR映像 4:04 撮影：2011年

カメラ：多種

多くの人に映像に興味を持ってもらおうと2011年に会員が協力して企画し作成した当クラブのPR映像。

14年前の若くて活動的な会員の顔を見て、昔話で盛り上がりました。



2025年6月定例会報告

6月26日（木）14時00分からシリウス 606号室にて、6月の定例会を行いました。

出席者 佐藤、嶋崎、関、土屋、野田、三浦（早退）
山本

以上 出席者 7名
欠席者 5名、通信会員1名



会長報告・連絡事項

1) 11月3日文化の日に、大和市は文化芸術顕彰の授与をおこなっています。

「大和映像サロンの会長としてこの顕彰を授与したい」との連絡が大和市文化振興課よりありました。

会員の意見をもとに、決めたいと思います。

（出席の会員全員が了承、授与をうけることになりました。）

2) 次回7月の勉強会の担当講師は山本会員です。

6月定例会発表作品

1) 「フラワーセンター大船植物園」 7:12 山本 禎弘
撮影：2003年10月 カメラ：ソニー300K
今から22年前の作品で、画面サイズが4:3の時代の映像です。

大船フラワーセンターは、神奈川県農業試験場の跡地に作られた植物園で、多くの花が1年中楽しめる場所です。訪れた10月は、バラ、サルスベリなどが咲き、種類も豊富。映像には撮影を楽しむメンバーの姿が。

人の多いところではカメラを構えにくい現在、ここは撮影を楽しめる数少ないところかもしれません。

古いカメラとは思えないほど鮮やかな映像にみんなが驚きました。

ガーデンテラスでは、ランチやお茶が楽しめ、地元農家の野菜を利用したメニューもあるようです。



2) 「風わたる」 10:00 佐藤 昌孝
撮影：2024年11月 カメラ：パナソニック FZH1
妙高戸隠連山国立公園の中にある雨飾（あまかざり）高原。

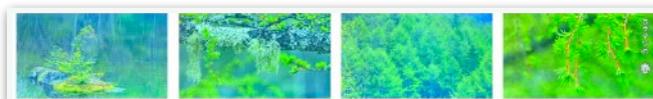
そこにある釜池はブナの林に囲まれていて、新緑と紅葉が美しいところ。

その風景の美しい四季をとらえて、自分の来し方・行く末に思いを馳せるように静かに語るモノローグ。

「心の中を吹いていく風。 人生の旅はまもなくゴール。そんな風に吹かれて旅を続ける。」

今年の「大和映像まつり」の作者による二つ目の候補作品です。

もう発表候補が二つもできたなんて、さすがです。



Yamato Eizo Salon News Letter

3) 「夏越し（なごし）の大祓（おおはらえ）」 9:00
土屋 翁三 撮影：2017年7月
カメラ：ソニー790

大和市にある深見神社の「名越の大祓（なごしのおおはらえ）」の準備から神事までを追った作品。

茅を栽培するところがなくなり、自生の茅（かや）を見つけて刈り取るところから映像は始まります。

そして輪の形に編み込み、組み立てられた茅の輪が境内に設置されます。

神事の日には、神職の先導でその輪を三回くぐり、罪やけがれを祓い無病息災を祈願します。

2017年大和映像まつり上映作品。 まもなく6月30日。

ぜひ、地元の名越の大祓に行っていたいただければとの、作者の想いで上映されました。



「過去の映像ストック」のコーナー

「じょんのびの里」 11:35

小林 義明（元会員・故人）

撮影：2011年10月 カメラ：不明

「じょんのび」というのは「ゆったり」「のびのび」「気持ちいい」といったリラックスした状態を表現する新潟県の中越地方の方言で、「寿延び」とか「情延び」という言葉からきているそうです。

そんな言葉で表現した小さな村・荻ノ島集落取材して、過疎の村でいつまでも楽しみながら暮らしていきたいという地元の人々の努力をとらえています。

廃屋を利用して作ったという宿を運営する女将さん。

「何もないところだから、提供する料理が一番のおもてなし」と笑顔で答えます。

作者の目の付け所、構成、場面展開、ナレーション、全てが素晴らしい作品です。

参考情報 荻ノ島集落のサイト

<https://niigata-oginoshimayado.com/2>



あとがき

今回は、欠席者が多く、また体調不良で早退される会員もいました。

季節が変わり、鬱陶しい梅雨から暑い夏に向かいます。

体調に注意をはらい、無理をしない範囲で参加されることをお願いします。

編集子2024

7月の開催

| | |
|------|------------------------------------|
| 勉強会 | 7月10日（木）14:00 - 606号室 担当講師 山本会員 |
| 通常例会 | 7月24日（木）14:00 - 606号室 |



大和映像サロン

発行・事務局 土屋 翁三

〒242-0012 大和市深見東1-1-12 TEL 046-263-6623 FAX 046-264-7350